



## PARTNERS

TITLE PARTNER



GOLD PARTNER/GRASS ROOTS PARTNER



SILVER PARTNER



OFFICIAL SUPPLIER



OFFICIAL BROADCASTING PARTNER



OFFICIAL EQUIPMENT PARTNER



OFFICIAL TICKETING PARTNER



# WE LEAGUE

## PROFILE BOOK

公益社団法人 日本女子プロサッカーリーグ

Japan Women's Empowerment Professional Football League

© WE LEAGUE  
2023年5月1日発行

**理念**  
女子サッカー・スポーツを通じて、  
夢や生き方の多様性にあふれ、  
一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。

**ビジョン**  
世界一の女子サッカーを。  
世界一アクティブな女性コミュニティへ。  
世界一のリーグ価値を。

## WEリーガークレド

### WE PROMISE

- ・私たちは、自由に夢や憧れを抱ける未来をつくる。
- ・私たちは、共にワクワクする未来をつくる。
- ・私たちは、互いを尊重し、愛でつながる未来をつくる。

みんなが主人公になるためにプレーする。

**WE** LEAGUE

## 女子サッカーの輝きを通して、 一人ひとりが輝く多様性の確保された社会へ

日本初の女子プロサッカーリーグである WE リーグは、①日本の女性活躍社会を牽引する、②日本に「女性プロスポーツ」を根付かせる、③日本の女子サッカーの発展に貢献する、④なでしこジャパンを再び世界一にするという設立意義をもって、2021年に発足しました。

全世界で女子サッカーに力を入れる動きが活発化する中、2011年のなでしこジャパンのワールドカップ優勝を皮切りに、U17、U20すべての年代で世界一となり、日本の女子サッカーは世界からリスペクトされています。国内リーグのプロ化を通して、このポテンシャルを掘り起こし、再びなでしこジャパンを世界一にすること、そしてそこで戦う選手たちの姿を通して、日本の女子プロスポーツ界だけでなく、社会全体に勇気や希望を与えることを目指しています。

初年度となる2021-22シーズンは11チームが参加し、全110試合を開催。選手一人ひとりがピッチで躍動し、見る人たちをワクワクさせてくれました。競技に関するデータを海外リーグやアマチュア時代と比較しても、十分にプロ化した意義を感じられる変化がみられています。プロとしてサッカーに集中することにより、選手たちが自身のフィジカル、メンタルのコンディションを整える時間を持つことができ、サッカーと向き合えるようになった結果です。今後の日本代表の活動においても、より多くの WE リーグ選手を輩出し、世界の舞台で活躍してくれることを期待しています。

また WE リーグが大切にしているピッチ外の活動「WE ACTION」は他のスポーツ競技団体とは異なる特徴です。

理念に掲げている、一人ひとりが輝く多様な社会づくりのため、社会に潜むジェンダーを中心とした課題に取り組み、その根底にある問題について日々考えています。リーグやクラブだけではなく、選手たちもその活動に参加し、パートナー企業、自治体、ファン・サポーター、ホームタウンの人々とともに、社会問題について考え、問題を提起し、その解決に向けた行動を起こしています。そこでの経験は、サッカーの競技力向上にも必ず生かされていくことでしょう。

今、世界の多くの国と地域が女子サッカーに力を入れ始めており、多くの女子アスリートが輝きを放っています。WE リーグの設立が、日本の女子サッカーのレベル向上に寄与し、海外のリーグと渡り合える存在になること。そうすることで、日本で育った選手だけでなく、日本に来てプレーをする外国籍選手にとっても、この国が安心して輝ける場所になるものと思います。先進国でありながらジェンダーギャップの大きい日本において、WE リーグの果たす役割は大きいと信じています。

サッカーという世界中に愛されるスポーツを、女性も同様に楽しむ世界を作ること。そしてそのトップで輝く女性たちの姿を通して、老若男女多くの人たちの心を動かし、一人ひとりが輝く多様性の確保された社会づくりに貢献すること。その道のりは決して容易なものではありませんが、その可能性を信じるステークホルダーの皆様と共に手を取り合って、実現していきたいと思えます。



公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)

チェア 高田春奈

プロフィールはこちら→



# About WE LEAGUE

## WOMEN EMPOWERMENT LEAGUE

わたしたちみんな「WE」が主人公として活躍する社会を目指して

「これは新しい日本のキックオフだ」

この合言葉を胸に、2020年7月1日、「WEリーグ」は設立されました。

正式名称は「Women Empowerment League」。

リーグを核に関わるわたしたちみんな(WE)が主人公として活躍する社会を目指した

日本初の女子プロサッカーリーグの誕生です。

そして、2021年9月12日。プレーでも、社会への貢献でも、世界一の女子サッカーリーグへ邁進する「WEリーグ」

が開幕。日本女子サッカーの頂点を目指す熱戦が繰り広げられています。

### ●設立の意義

- 1 日本の女性活躍社会を牽引する。
- 2 日本に「女性プロスポーツ」を根付かせる。
- 3 日本の女子サッカーの発展に貢献する。
- 4 なでしこジャパンを再び世界一にする。

### ●名称とロゴ

WEリーグはWomen Empowerment Leagueの略称です。この名称には日本に“女子プロサッカー選手”という職業が確立され、リーグを核に関わるわたしたちみんな(WE)が主人公として活躍する社会を目指す、という思いが込められています。

# ●WE LEAGUE

ブランドモチーフの「●」(ドット)は、「サッカーの躍動感」「新たなつながり」「これからの日本」を表しています。

### ■理念とビジョン

WEリーグは、「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」ことを理念に掲げています。この理念は、3つのビジョンによって支えられています。サッカー事業は「世界一の女子サッカー」を、社会事業は「世界一の女性コミュニティ」を目指し、その両輪を支える事業基盤を整え「世界一のリーグ価値」を生み出していくという構図です。

サッカー事業では、リーグ戦の開催を通して、日本女子サッカー界の環境整備や選手の育成・強化などに取り組み、サッカーを男女ともに楽しめる競技スポーツへと発展させていきます。また、社会事業では、スポーツの枠を超えた様々なステークホルダーとともにコミュニティを形成し、社会課題の解決に向けてアクションを起こしています。それぞれのクラブや選手たちも理念の推進に向けた意思表示を行っており、リーグ一体となって活動していきます。

### 理念

女子サッカー・スポーツを通じて、  
夢や生き方の多様性にあふれ、  
一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。

- ①世界トップ水準の競技力、選手・スタッフの輩出
- ②日本全国で女子サッカーの競技力のポトムアップの実現(サッカー事業)
- ③日本各地に女子がサッカーを楽しめる場を広げる

**VISION 1**  
世界一の女子サッカーを。  
(サッカー事業)

**VISION 2**  
世界一アクティブな女性コミュニティへ。  
(社会事業)

- ①女性が起点となり、社会全体に前向きな変化を生み出す原動力になる
- ②スポーツの枠を超えて、個人、団体、企業が集まるプラットフォームとなる

**VISION 3**  
世界一のリーグ価値を。  
(事業基盤)

- ①社会面、競技面の発展を支えるリーグ基盤(財政・組織)を確固たるものとする
- ②リーグの本質的価値を事業成果としてあらわす
- ③多種多様な働き方を内包した、社会のロールモデルとなる組織を実現する

### ■沿革

2019年	
7月11日	JFA理事会が、「女子サッカープロリーグ設立構想」「女子新リーグ設立準備室の設置」を承認。
9月12日	女子新リーグ設立準備室およびアドバイザーコミティのメンバーが決定。室長に、佐々木則夫氏(JFA理事、元日本女子代表監督)が就任。
11月14日	2021年の女子プロリーグ新設がJFA理事会にて決議。
2020年	
6月3日	JFAが日本初の女子プロサッカーリーグ創設を発表、名称は「WEリーグ」。ロゴマーク、参入基準等を公表。
7月1日	一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ 設立。
3日	社員総会、理事会を初開催。岡島喜久子氏の代表理事就任を決議、初代チェアに就任。
8月3日	JFAが、女性指導者を対象とした「Associate-Pro(A-Pro)コーチ養成講習会」を開設。WEクラブ監督の要件は、S級もしくはA-Proライセンス保有が条件に。
23日	入会審査選考委員会を設置。
31日	17団体が入会申請。
9月2日	第1回入会審査選考委員会 開催。(全4回：9/2, 17, 30, 10/8)
10月15日	理事会にて、11クラブの入会申請を承認。WEリーグ参入クラブ発表記者会見を開催。
23日	JFA、WEリーグが、国内競技団体で初となる「女性のエンパワーメント原則(WEPs)」への署名を発表。
2021年	
2月1日	JFAが定める「女子プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」施行。
10日	実行委員会 初開催。
24日	JFAによる「ASEAN女子選手受け入れ支援制度」を発表。
3月8日	国際女性デーに合わせて、11クラブの選手代表者が集まりクレド(行動規範)開発に着手。
24日	「外国籍女子選手受け入れ支援制度」を決議。
4月1日	WEリーグ規約 施行。
15日	「WEリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」を策定。
23日	規律委員会設置。
24日	2021 WEリーグ プレシーズンマッチ 開幕。(全22試合、~6/19)
6月9日	国際協力機構(JICA)、JFA、Jリーグ、WEリーグが、サッカーを通じた開発途上地域の発展に向けて連携協定を締結。
7月1日	一般社団法人日本女子プロサッカーリーグから、公益社団法人に移行。
5日	WEリーグタイトルパートナー、ブロードキャスティングパートナー発表記者会見開催。株式会社ウェブシャーク(現:株式会社Yogibo)とWEリーグがタイトルパートナー契約を締結。大会名称が「Yogibo WEリーグ」に決定。DAZNでの「Yogibo WEリーグ」全試合配信を発表。
7日	WEリーガー研修 開催。(~9日)
21日	第1回WEリーグ監督フォーラム 開催。
8月16日	Yogibo WEリーグに273名の選手を初登録。
25日	WEリーガークレド(行動規範)を制定。
9月6日	Yogibo WEリーグ 開幕プレスカンファレンス開催。社会事業「WE ACTION」を発表、キックオフミーティング開催。
8日	WEリーグアンセム『WE PROMISE』を発表。春畑道哉さんが作曲。
12日	2021-22 Yogibo WEリーグ 開幕。INAC神戸レオネッサ 高瀬愛実選手がWEリーグ初ゴールを記録。(前半4分、第1節 INAC神戸5-0 大宮V/ノエビアスタジアム神戸/10:01キックオフ)
10月2日	大宮アルディージャVENTUS カトラール グレイス エリン選手(アメリカ)が外国籍選手初ゴールを記録。(後半43分、第4節 大宮V 1-4 浦和/NACK5スタジアム大宮/14:03キックオフ)
10日	大宮アルディージャVENTUS 井上綾香選手がWEリーグ初ハットトリックを達成。(第5節 大宮V 4-1 S広島R/NACK5スタジアム大宮/14:03キックオフ)
11月24日	裁定委員会設置。
12月14日	第1回WE ACTION MEETING 開催。

2022年	
2月26日	Yogibo WEリーグ優勝トロフィー「Women Empowerment Trophy」が完成。制作は菅原工芸硝子。
3月14日	WEリーグ、ラ・リーガ(スペインのプロフェッショナルサッカーリーグ)、なでしこリーグが三者間でパートナーシップ協定を締結。
5月8日	INAC神戸レオネッサが2021-22Yogibo WEリーグ優勝。初代チャンピオンに。
22日	2021-22Yogibo WEリーグ閉幕。総試合数110試合、総入場者数171,601人(平均1,560人)。
6月7日	WEリーグアウォーズを初開催。INAC神戸レオネッサ GK山下杏也加選手が初代最優秀選手賞(MVP)に。初代得点王は三菱重工浦和レッズレディース 菅澤優衣香選手(出場20試合/14得点)、フェアプレー賞は三菱重工浦和レッズレディース、MOST IMPRESSIVE WE ACTION DAYはちふれASエルフェン埼玉が受賞。
21日	WEリーグが「令和3年度JOCスポーツ賞 女性スポーツ賞」を受賞。
8月20日	2022-23WEリーグカップ開幕。
9月14日	2023-24シーズンよりセレッソ大阪堺レディースのWEリーグ参入が決定。
29日	第2代 WE リーグチェアに高田春奈氏が就任。
10月1日	2022-23WEリーグカップ閉幕。三菱重工浦和レッズレディースがWEリーグカップ初代王者に。
11月28日	WEリーグ、イングランドサッカー協会、JFAがパートナーシップ協定を締結。
2023年	
1月18日	「女性のエンパワーメント 年次レポート2022」をJFAと共同で発行。
28日	皇后杯 JFA 第44回全日本女子サッカー選手権大会で日テレ・東京ヴェルディベレーザが優勝。
2月24日	セレッソ大阪堺レディースが4月1日より「セレッソ大阪ヤンマーレディース」として活動することが決定。
3月5日	参入基準の一つである託児施設の設置をリーグ戦ホームゲームにて実施。



2021-22 Yogibo WEリーグ優勝 INAC神戸レオネッサ



2022-23 WEリーグカップ優勝 三菱重工浦和レッズレディース

# About WE LEAGUE

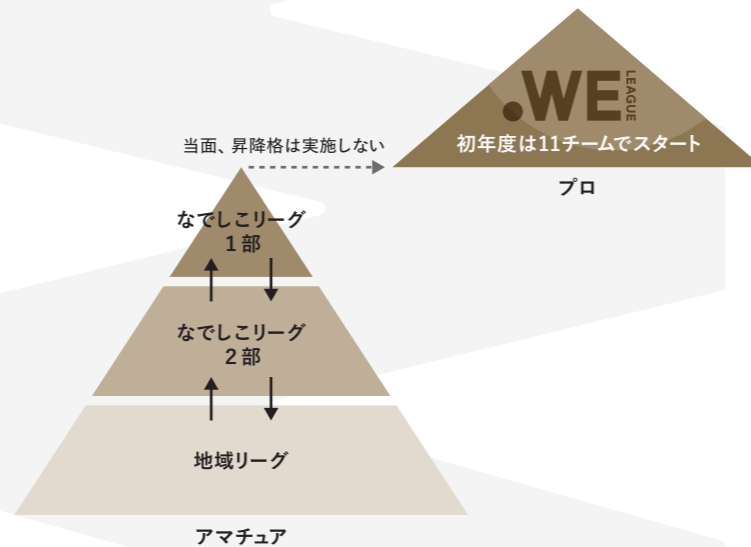
## WEリーグの位置づけ

WEリーグは日本サッカー協会（JFA）の加盟団体です。日本女子サッカーのトップリーグであり、現なでしこリーグの上位に位置するリーグです。



## 女子サッカーリーグの構造

WEリーグは11チームでスタートし、複数年は降格無しのエキスパンション型を取ります。2023-24シーズンよりセレッソ大阪ヤンマーレディースが参入し、12チームとなります。



## 法人概要

- 法人名称 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ (英語表記) Japan Women's Empowerment Professional Football League
- 略 称 WEリーグ (英語表記) WE LEAGUE
- 設 立 日 2020年7月1日
- 事業年度 7月1日～6月30日
- 所 在 地 東京都文京区本郷 3-10-15 JFAハウス6F
- チェア 高田 春奈
- 社員総会
- 【WEリーグ会員】
- 株式会社マイナビフットボールクラブ
- 浦和レッドダイヤモンズ株式会社
- エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ株式会社
- 株式会社エルフェンススポーツクラブ
- ジェフユナイテッド株式会社
- 東京ヴェルディ株式会社
- 株式会社ノジマステラスポーツクラブ
- 株式会社長野パルセイロ・アシレチッククラブ
- 株式会社アルビレックス新潟レディース
- アイナックフットボールクラブ株式会社
- 一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブ
- 株式会社サンフレッチェ広島
- 【特別会員】
- 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
- 理事長（チェア） 高田 春奈

## ● 理事会 ※2023年4月26日現在

- 【理 事 長】 高田 春奈
- 【理 事】 小林 美由紀、今井 純子、山岸 佐知子、湯川 和之、窪田 慎二、馬場 浩史、佐野 秀彦、田村 貢、久保 雅義、村松 邦子、大内 智重子、大山 加奈、島田 譲
- 【監 事】 大江 修子、大塚 則子、為末 大

## ● 主な活動

- ① 女子プロサッカーの試合の主催  
WEリーグ11クラブ リーグ戦 全110試合
- ② 公式記録の作成、管理及び運用  
公式試合、公式行事の記録や映像・静止画像の作成・収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像権等の管理
- ③ 女子プロサッカーに関する諸規約の制定
- ④ 女子プロサッカーの選手、監督及び審判等の養成、資格認定及び登録
- ⑤ 放送等を通じた女子プロサッカーの試合の広報普及
- ⑥ サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導
- ⑦ サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施
- ⑧ サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助
- ⑨ 機関紙の発行等を通じた女子サッカーに関する広報普及
- ⑩ 女性活躍推進をはじめとする社会課題に関するイベントや研修の実施
- ⑪ その他目的を達成するために必要な事業  
女子プロサッカーに関するパートナー、スポンサー及びサプライヤーとのリレーション構築等

## ● 参加事業、実施事業

- 「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」に署名  
2020年10月23日、JFAとWEリーグは、国連グローバル・コンパクトとUN Womenが共同で作成した「女性のエンパワーメント原則（Women's Empowerment Principles/ WEPs）」に署名したことを発表しました。  
日本国内の競技団体の参加はJFAとWEリーグが初めてであり、WEPsに参加することによって女性が力を発揮できる労働環境・社会環境を整備することへの強い意思を示しました。  
また、WEPsで示されている7つの原則に基づいた活動を可視化し、今後の改善につなげていくことを目的に、JFAと協同して年次レポートを作成しています。



## ● 賛助会員制度「WE SUPPORTERS」の設立

WEリーグを応援してくださる仲間の輪を広げ、資金面のご支援により、安定的なリーグ運営・さらなるリーグの発展につなげることを目的とした、賛助会員制度「WE SUPPORTERS」を設立しました。



## ● JFA / WEリーグ女性リーダーシッププログラムを実施

JFAとWEリーグの共催で、「JFA / WEリーグ女性リーダーシッププログラム」を2020年度より実施しています。同プログラムはサッカー界・スポーツ界を牽引する女性役員や経営人材を育成することを目的とし、9地域 / 47都道府県サッカー協会やWEクラブ、これからWEリーグ参入を目指すクラブの役員、経営者候補が参加しています。本プログラムでは、講義の柱として「ジェンダーと自己理解」「マインド変革」「経営リテラシーの獲得」の3つを掲げています。

## ● WEリーグオフィシャルパートナーの協力のもと各クラブで様々な施策を展開



# About WE Clubs

## 日本女子サッカー発展の拠点となるWEクラブ

記念すべき開幕シーズンは、北は仙台、南は広島まで、9都県から11クラブがWEリーグに入会しました。内訳は、なでしこリーグから9クラブ、女子チーム新設が2クラブです。それまで男子チームのみを保有していた大宮アルディージャとサンフレッチェ広島は、WEリーグ設立をきっかけに女子チームを新設しました。


各クラブは、WEリーグ参入基準に則り、15名以上の選手たちとプロ契約を結んでいるほか、アカデミーチームの創設を進めるなど、日本女子サッカーの強化・育成・普及を牽引する存在です。そして、WEリーグの理念である多様性社会の実現に向けて、理念へのコミットメントを記したWEステイトメントを策定し、地域コミュニティの核として「WE ACTION DAY」の活動など具体的な施策に取り組んでいます。

また2023-24シーズンよりセレッソ大阪ヤンマーレディースが参入し12クラブ体制となります。




### WEクラブ一覧 [2022-23シーズン]

- 1 マイナビ仙台レディース
- 2 三菱重工浦和レッズレディース
- 3 大宮アルディージャVENTUS
- 4 ちふれASエルフェン埼玉
- 5 ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
- 6 日テレ・東京ヴェルディベレーザ
- 7 ノジマステラ神奈川相模原
- 8 AC長野パルセイロ・レディース
- 9 アルビレックス新潟レディース
- 10 INAC神戸レオネッサ
- 11 サンフレッチェ広島レジーナ
- ※2023-24シーズンより参入
- 12 セレッソ大阪ヤンマーレディース




**ジェフユナイテッド市原・千葉レディース**

- 1 千葉L
- 2 フクダ電子アリーナ
- 3 千葉県市原市、千葉市
- 4 ジェフユナイテッド株式会社
- 5 取締役 島山 正人
- 6 1992年
- 7 ジェフユナイテッド市原レディースとして2000年にL・リーグに参入。2005年に「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース」に名称を変更。
- 8 ジェフユナイテッド市原・千葉レディースは、理念実現のために、真摯・挑戦・つなぐ・クラブと地域・ダイバーシティ・育成・感動の7つのジェフスピリッツを実践します。




**日テレ・東京ヴェルディベレーザ**

- 1 東京NB
- 2 味の素フィールド西が丘
- 3 東京都北区、板橋区、稲城市、日野市、多摩市、立川市
- 4 東京ヴェルディ株式会社
- 5 取締役 川崎 濃
- 6 1981年
- 7 1981年、読売サッカークラブの女子チームとして創部。2000年より「日テレ・ベレーザ」、2020シーズンより、「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」に名称を変更。
- 8 私たち日テレ・東京ヴェルディベレーザは、WEリーグ理念実現のために、ホームタウンを中心としたエリアで愛されるクラブになれるよう、地域の活性化と発展に貢献します。




**ノジマステラ神奈川相模原**

- 1 N相模原
- 2 相模原ギオンスタジアム
- 3 神奈川県、相模原市
- 4 株式会社ノジマスポーツクラブ
- 5 代表取締役社長 馬場 正臣
- 6 2012年
- 7 2012年2月、株式会社ノジマの女子サッカー部として「ノジマステラ神奈川」が発足。2014年に「ノジマステラ神奈川相模原」に名称を変更。
- 8 ノジマステラ神奈川相模原は、WEリーグ理念実現のため、地元地域の星（チーム名由来）となり、性別や年代に関係なく、一人ひとりが輝ける社会の実現を多様な神奈川から発信し、「日本一、輝く」クラブを目指します。




**AC長野パルセイロ・レディース**

- 1 AC長野
- 2 長野Uスタジアム
- 3 長野県長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、小川村、飯綱町、栄村、佐久市
- 4 株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ
- 5 代表取締役社長 今村 俊明
- 6 2010年
- 7 チームの前身は大原学園JaSRA女子サッカークラブ。2009年シーズン終了後に、AC長野パルセイロの女子チームとして移管され、「AC長野パルセイロ・レディース」が誕生。
- 8 AC長野パルセイロ・レディースは、WEリーグ理念実現のために、多様性を理解し、みんなが輝けるNAGANOの未来実現のため行動します。理念推進のため、選手が中心となって地域に働きかける活動を行います。チームスタッフは女性を中心に採用し、人材教育にも力を入れます。




**マイナビ仙台レディース**

- 1 マイ仙台
- 2 ユアテックスタジアム仙台
- 3 宮城県、仙台市
- 4 株式会社マイナビフットボールクラブ
- 5 代表取締役社長 本棒 陽一
- 6 2021年
- 7 2012年、東日本大震災により休部した「東京電力女子サッカー部 マリーゼ」が移管し、「ベガルタ仙台レディース」発足。2021年、株式会社ベガルタ仙台から株式会社マイナビに経営権を譲渡し「マイナビ仙台レディース」発足。
- 8 マイナビ仙台レディースは、地域における存在価値を高め、更に愛されるクラブとなるため、在仙プロスポーツチームと連携しながら、より一層仙台、宮城、東北を盛り上げる存在を目指します。




**三菱重工浦和レッズレディース**

- 1 浦和
- 2 浦和駒場スタジアム
- 3 埼玉県さいたま市
- 4 浦和レッドダイヤモンズ株式会社
- 5 代表取締役社長 田口 誠
- 6 2005年
- 7 1980年に誕生した「本太レディース」から1998年に派生した「浦和レイナス」(さいたまレイナス)を引き継ぐ形で2005年に「浦和レッドダイヤモンズレディース」が誕生。2021年より呼称を「三菱重工浦和レッズレディース」に変更。
- 8 私たちは、理念実現のために、世界水準のサッカーを目指し、誰もが誇りと親しみを持つことができ、健全で持続可能なクラブを築いていきます。




**大宮アルディージャVENTUS**

- 1 大宮V
- 2 NACK5スタジアム大宮
- 3 埼玉県さいたま市
- 4 エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ株式会社
- 5 代表取締役社長 佐野 秀彦
- 6 2021年
- 7 2021年、Jリーグの大宮アルディージャが新設した女子チーム。「VENTUS」はラテン語で「風」を意味し、女子サッカー界に新たな「風」を吹き込む、WEリーグで大きな「旋風」を巻き起こすという意味を込めている。
- 8 大宮アルディージャVENTUSは、理念実現のために、地域とともに、新たな「風」を起こします。「新たな風」は常に新しい風を起こすことを意味します。チーム設立初年度だけでなく、地域のために、子どもたちのために、常に新しい発想を持ってチャレンジし続けます。




**ちふれASエルフェン埼玉**

- 1 EL埼玉
- 2 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
- 3 埼玉県狭山市、飯能市、日高市、熊谷市
- 4 株式会社エルフェンスポーツクラブ
- 5 代表取締役社長 田村 貢
- 6 2016年
- 7 1975年、狭山市で地域の少女チームとして「アゼリアFC」発足。2016年命名権により「ちふれASエルフェン埼玉」に。
- 8 ちふれASエルフェン埼玉は、理念実現のために、子ども達の未来へ、地球環境の未来へ、女子サッカーの未来へ、さまざまな可能性を未来へつなげる活動を積極的に行います。




**アルビレックス新潟レディース**

- 1 新潟L
- 2 デンカビッグスワンスタジアム、新潟市陸上競技場
- 3 新潟県、新潟市、新発田市、聖籠町
- 4 アイナックフットボールクラブ株式会社
- 5 代表取締役社長 山本 英明
- 6 2002年
- 7 Jリーグ・アルビレックス新潟の女子チームとして2002年に創設。2006年になでしこリーグ1部へ昇格。2019年には、株式会社アルビレックス新潟レディースとして分社独立。
- 8 私たちアルビレックス新潟レディースは、理念実現のために、ピッチの内外を問わず活躍できる人材となり、魅力あふれる新潟づくりに貢献します。ヒト、まち、モノ、文化・伝統・芸能、食、観光、気候など「新潟という地域社会そのもの」をより一層活性化させて、輝ける存在になることを約束します。




**INAC神戸レオネッサ**

- 1 神戸
- 2 ノエビアスタジアム神戸
- 3 兵庫県神戸市
- 4 アイナックフットボールクラブ株式会社
- 5 代表取締役社長 安本 卓史
- 6 2001年
- 7 2001年4月に神戸で誕生。2005年にL・リーグ参入1年で1部へ昇格。2009年に現在の「INAC神戸レオネッサ」に改称。
- 8 INAC神戸は、「For The Future」をスローガンとして、日本女子サッカーの発展のためにサッカーを通じて少女たちに夢と希望を与えられる存在となり、WEリーガークレドの実現を目指します。



**サンフレッチェ広島レジーナ**

- 1 S広島R
- 2 広島広域公園第一球技場
- 3 広島県広島市
- 4 株式会社サンフレッチェ広島
- 5 取締役 久保 雅義
- 6 2021年
- 7 2021年、Jリーグのサンフレッチェ広島が新設した女子チーム。「レジーナ」はイタリア語で「女王」を意味している。
- 8 私たちサンフレッチェ広島レジーナは、理念実現のために男子チーム、女子チーム両方を持っているクラブとして男女関係なく、お互いをRESPECTし、各々がサッカーを通じて地域の皆様と共にサッカー発展に携わる人材を増やしていきます。



**セレッソ大阪ヤンマーレディース**

- 1 C大阪
- 2 ヨドコウ桜スタジアム
- 3 大阪府大阪市、堺市
- 4 一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブ
- 5 レディース事業部部長 佐伯 真道
- 6 2022年
- 7 準備中
- 8 準備中

【凡例】 ①略称②ホームスタジアム③ホームタウン④法人名⑤実行委員⑥チーム創設年⑦クラブの変遷  
 ⑧WE STATEMENT(※) ※クラブのステイトメント「WE STATEMENT」の設定  
 各クラブが理念推進に向けての取り組みを示す、WEステイトメントを策定。ステイトメントに沿ったWE ACTIONを起こす。  
 2023-24シーズンから参入が決定  
 2023.5.1現在

# About Football

## 世界一の女子プロサッカーリーグを目指して

### ■年間スケジュールについて

- 2022 8 ●2022-23 WEリーグカップ開幕
- 10 ●2022-23 WEリーグカップ閉幕
- 11 ●2022-23 WE LEAGUE 2022-23 シーズン開幕
- 11 ◎皇后杯 JFA 第44回全日本女子サッカー選手権大会開幕
- 12 ●2022-23 Yogyibo WEリーグウインターブレイク(12月~2月)
- ◎皇后杯 2回戦~4回戦
- 2023 1 ◎皇后杯 準々決勝~決勝
- 2 ◎代表活動
- 3 ●2022-23 Yogyibo WEリーグ再開
- 4 ◎代表活動
- 6 ●2022-23 Yogyibo WEリーグ閉幕
- WEリーグアウォーズ
- 7 ●FIFA女子ワールドカップオーストラリア&ニュージーランド 2023
- 8 ●FIFA女子ワールドカップ閉幕

### ■リーグ戦について

2シーズン目となる2022-23シーズンは、2022年10月22日に開幕し、2023年6月10日まで、11クラブが参加して全110試合を開催します。

●大会名称	2022-23 Yogyibo WEリーグ [英語表記: 2022-23 Yogyibo WE LEAGUE]
●主催	公益財団法人日本サッカー協会、 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
●試合会場	原則ホームクラブのスタジアム
●開催期間	2022年10月22日(土)~2023年6月10日(日)
●参加チーム数	11クラブ
●大会方式	ホーム&アウェイ方式による 2回戦総当たりリーグ戦
●試合数	110試合(全22節)
●開催概要	90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとする。 ・勝点 勝利: 3点、引き分け: 1点、敗戦: 0点 ・年間順位の決定 リーグ戦が終了した時点で、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。 ただし、勝点と同じ場合は、以下の順によって順位を決定する。 1. 得失点差 2. 総得点数 3. 当該チーム間の対戦成績 (イ: 勝点、ロ: 得失点差、ハ: 総得点数) 4. 反則ポイント 5. 抽選 ※抽選は、理事会が必要と判断した場合のみ実施される
●表彰	優勝: 賞金 2,000万円 Women Empowerment Trophy 2位: 賞金 1,000万円 3位: 賞金 500万円
●放映	DAZNおよび各クラブホームタウンのテレビ局

### ■WEリーグ 優勝トロフィー 「Women Empowerment Trophy」

リーグ戦の王者に贈られる優勝トロフィーは、女性の障壁として例えられる「ガラスの天井」から着想を得て、私たち自身が壊したガラスからつくられています。制作は、初代岡島チェアと世代の異なるWEリーガー3名がそれぞれぶつかってきたガラスの壁をサッカーボールで壊すことから始まりました。壊れたガラスの破片は、菅原工芸硝子株式会社が培ってきた廃棄ガラスのリサイクル技術を活用し、女性職人の手で再度成形されました。ガラスの破片を重ねながら、熱を加えてねじること、世界一のリーグを目指すWEリーグの「上昇する力」を表現しています。女性の未来と可能性の象徴として生まれ変わったトロフィーは「Women Empowerment Trophy」(ウーマンエンパワメントトロフィー)と名付けました。



### ■WEリーグカップ(カップ戦)について

2022年8月~10月、WEリーグ発足後初となる「2022-23WEリーグカップ」を開催しました。全11チームを2つのグループに分けて全25試合のグループステージを行い、各グループ1位チームによる決勝を行いました。2年目となる「2023-24 WEリーグカップ」からはセレッソ大阪ヤンマーレディーズが参加して12チームにより実施されます。また、2023年11月に予定されている決勝は国立競技場にて開催されます。

### ■放映について

WEリーグは、2021-22シーズンから2028-29シーズンまでの8シーズンにわたって、スポーツ専門ライブストリーミングサービスを提供するDAZNとオフィシャルブロードキャスティングパートナー契約を締結しました。これに伴い、リーグ戦はDAZNで配信されるほか、一定数の試合をDAZN YouTubeチャンネルにて無料で配信しています。また、試合によっては各クラブホームタウンの地元テレビ局等でも放送されます。なお、DAZNでのライブ配信映像はWEリーグ公式映像としてWEリーグが著作権を持って制作します。公式映像はDAZNでの配信のほか広報活動や競技力の向上などに活用しています。

### ■選手について

#### ●女子プロサッカー選手契約制度

JFAは、WEリーグ設立に伴い、女子プロリーグや選手に対応するために「女子プロサッカー選手の契約、登録及び移籍に関する規則」を新設。本規則は、男子同様に統一契約制度(プロA~C契約に基づく制度)が設けられたほか、クラブでの育成促進を目的にトレーニング補償金制度が導入されました。また、女性特有のライフイベントである妊娠・出産への配慮として、活動再開時は登録ウインドー外でも登録可能等の内容も盛り込まれました。



#### ●WEリーガー研修

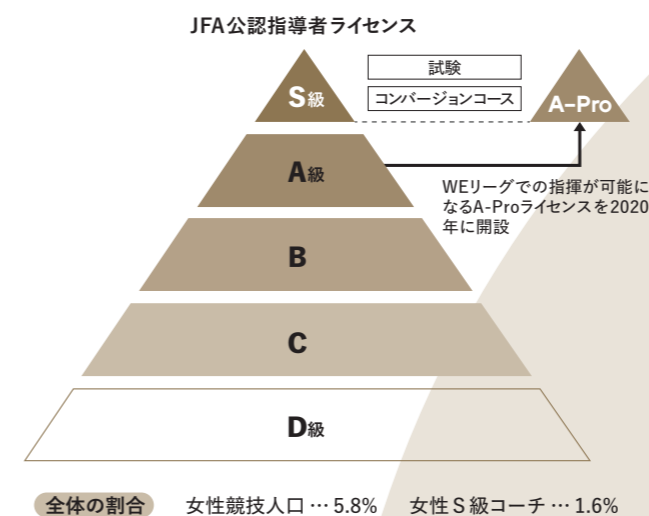
2021-22シーズンより、シーズン開幕前にWEリーグ選手全員を対象とした研修会を3日間にわたってオンラインで開催しています。2シーズン目となる2022-23シーズンは、初日は新人プロ選手、2日目以降は代表活動参加選手以外の全選手が参加し、「自分の力"POWER"を表現する」をテーマに、プロスポーツ選手としての心得や、スポーツ医学、性の多様性などについて学びました。

### ■指導者について

#### ●女性指導者向けに「A-Proライセンス」の創設

JFAは、女性指導者を対象に、AFC-Pro基準の新たなライセンスとして「Associate-Pro (A-Pro) ライセンス」を2020年より限定的に開設しました。保有者はWEリーグでの指揮が可能です。初年度は、13名が受講しました。

#### A-Proライセンスの位置づけ



#### ●WEリーグ監督フォーラムの開催

WEクラブの監督や小野剛WEリーグテクニカルアドバイザー兼JFA技術副委員長と定期的に「WEリーグ監督フォーラム」を開催しています。

シーズンの振り返り、データに基づいたプレーの検証、技術面、フィジカル面などの改善提案など、サッカーのレベル向上を目的とした分析、情報交換を行っています。

世界一のリーグを目指すという共通の目標のもと、「Rivals & Fellows 私たちはライバルであり、仲間だ」を合言葉に、クラブ、チームの垣根を超えた活発なディスカッションが行われています。

### ■審判員について

#### ●女性審判員で試合を運営

WEリーグでは女子1級、1級の資格を持つ女性審判員を中心に試合を運営しています。また、実力が認められた審判員は男子の国際大会の他、JリーグやJFLの試合も担当しています。



#### ●審判員交流研修プログラム

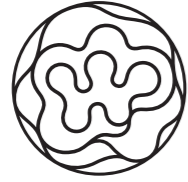
JFAが実施するPGMOL(プレミアリーグを担当する審判員とその指導者が所属する組織)との審判員交流研修プログラムの中で、イングランドの審判員3名が2023年3月~4月に行われたWEリーグの試合の審判を担当しました。技術の向上や、異なる文化や環境下でも審判ができる柔軟性や適応力を養うことを目的として、互いに審判員を派遣しています。



# About WE ACTION

## WE ACTION

WEリーグは、選手やクラブ、パートナー企業など多様なステークホルダーと共に、WEリーグの理念にある多様性社会の実現に向けた社会事業活動を「WE ACTION」として取り組んでいます。日本ならではの社会課題を解決していくことを目指して、わたしたちみんな(WE)で行動(ACTION)を起こしていきます。



### WE ACTION

【WE ACTION ロゴについて】  
WEリーグのWが渦の中心にあって、周囲に波紋が広がる様子を表しています。

#### WEリーグがハブとなる、コレクティブインパクトチームの編成

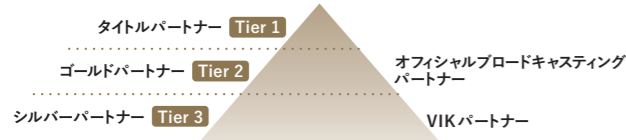
サッカー事業のパートナー構造は、タイトルパートナーを頂点とするピラミッド型構造です。その一方で、WE ACTIONの事業構造は、各団体がフラットに横につながる輪のような形「コレクティブインパクト」の構造をベースにしています。

WE ACTIONではリーグを中心に、クラブ・パートナー企業・スポーツ界・自治体・公的機関・経済界・メディアなど、あらゆるジャンルのプレーヤーがフラットな構造でつながることで、1社では解決できない大きな社会課題を共同で解決していきます。

#### WE ACTIONの構図 [コレクティブインパクト構造]



#### 参考：WEリーグパートナー構図 [ピラミッド型]



#### WE ACTION MEETINGの概要

●社会課題の発見とリスト化、そして課題の解決へ  
WE ACTIONには、選手、リーグ、クラブ、そしてWEリーグパートナーやメディアが参加し、社会課題解決を事業としている団体などと連携しながら、様々な社会課題の解決に取り組んでいきます。WE ACTION初年度の2021年度は、「WE ACTION MEETING」の実施により、社会課題の発見とリスト化、課題解決に向けたブレストなどを行い、2年目となる2022年以降は課題に対する深掘りをした後、具体的なアクションを進めていきます。

#### WE ACTION MEETINGの開催

初年度は、WEリーグ各クラブの理念推進担当者、WEリーグパートナー、メディア、WEリーグ担当者が集まり、計3回のWE ACTION MEETINGを行いました。1回目の2021年12月14日は、社会および身近に感じるジェンダー課題の共有、2022年1月18日に開催された2回目は選手からのジェンダー課題が発表されました。3回目(2月22日)には、それまでに出了課題に対する解決のアイデアブレストが行われました。

2年目は、課題を解決していくフェーズとして、2023年2月にJFAハウスに集まって4回目の会議を行いました。初年度に出たジェンダー課題のうち、一般社会の課題である「母頼りが多すぎる問題」「日本の女子の自己肯定感が低すぎる問題」、スポーツ界で起こっている「女性は10代でスポーツやめちゃう問題」「女性コーチは約3割問題」の4つをピックアップし、身の回りでどんなシーンを見かけるか、個人レベルでできる解決アクションは何かを話し合いました。また、オンラインで実施をした5回目には選手も参加し、チーム(スポーツ×パートナー×メディア)でできる解決アクションを言葉にし、レポートととしてまとめました。ここで出た意見をもとに、今後具体的な取り組みを行います。

WE ACTION MEETINGの  
様子はこちら→



#### 「Keep Playing プロジェクト」WEリーグ、Wリーグ、JHLが競技横断で活動

WEリーグエクイップメントパートナーである株式会社モルテンが2022年に「好きなことを続けよう。スポーツを続けよう。」をスローガンとして開始したKeep PlayingプロジェクトにWEリーグも賛同し、Wリーグ(バスケット)、JHL(ハンドボール)とともに活動に参加しました。3団体から6名の選手が集まり、『私たちが協議を続けている理由』をテーマに座談会を開催しました。



#### WE ACTION DAY

シーズン中、試合のない日は理念推進活動を行う「WE ACTION DAY」とし、シーズンを通じて1クラブあたり2回の「WE ACTION DAY」が設定されています。「WE ACTION DAY」では、クラブや地域の特性を生かしながら様々な活動を行って

#### 託児施設の運営について

WEリーグでは参入基準の中に「託児施設を設置すること」を設けています。産後復帰した選手だけでなく、ファン・サポーター、審判員、クラブ関係者、スタッフなどWEリーグに関わるすべての人が、安心してサッカー観戦を楽しめるようにとの思いから設定されたものです。コロナ禍により実施が延期となっていました。2023年3月より託児施設の設置を再開することになりました。



います。なお、ちふれAS エルフェン埼玉が第11節に行った『子どもたちの未来に夢や希望を!』は、「2021-22 MOST IMPRESSIVE WE ACTION DAY」を受賞しました。



# About Partnership

- 国際協力機構（JICA）、JFA、Jリーグ、WEリーグによるサッカーを通じた開発途上地域の発展に向けた連携協定  
2021年6月9日、独立行政法人国際協力機構（「JICA」）とJFA、Jリーグ、WEリーグの四者で開発途上地域への国際協力の効果的な実施とスポーツを通じた国際協力の一層の発展を目的に連携協定を締結しました。連携協定事業の一環として、開発途上地域におけるサッカーを通じた国際協力やJリーグ及びWEリーグとJICA国内機関との地域連携などの活動を行います。



JICAを通じてウガンダの女子サッカー難民チームへ、ちふれASエルフェン埼玉のユニフォームを寄贈

- スペインプロリーグ「ラ・リーガ」、なでしこリーグとのパートナーシップ協定  
2022年3月にWEリーグは、スペインのプロフェッショナルサッカーリーグ「ラ・リーガ」、なでしこリーグとの三者で、パートナーシップ協定を締結しました。これがWEリーグ初の海外リーグとの協定締結となります。かつてなでしこリーグとラ・リーガ間で締結されていた協定を、WEリーグ発足に伴い、なでしこリーグも含めた三者間協定として新たに結ぶものです。

世界各国でサッカーの普及、促進に寄与するラ・リーガと協定締結することで、両国の女子サッカーのさらなる展開、日本とスペイン間で知識や経験の共有による様々な交流を図っていきます。2023年4月には、リーガ・F（スペイン女子プロサッカーリーグ）の戦略本部長であるペドロ・マラビア・サンチス氏を講師にお迎えし、スペイン女子サッカー界についてのオンライン勉強会を実施しました。



- 渋谷区との連携  
2023年初夏にWEリーグは渋谷区へ本社を移転します。WEリーグの理念や目指すものと合致する渋谷に拠点を移し、様々なステークホルダーと協働しWEリーグの成長につなげます。今後、様々な分野において渋谷区との連携を図っていきます。

- WEリーグ、イングランドサッカー協会、JFAがパートナーシップ協定を締結  
公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ（WEリーグ）は、2022年11月28日カタールドーハにおいて、イングランドサッカー協会（THE FA）ならびに日本サッカー協会（JFA）との三者間でパートナーシップ協定を締結しました。今回の協定締結により、両国の女子サッカーのさらなる展開に向けて、日本とイングランド間で知識や経験を共有し、様々な交流を図っていきます。

- 協定内容  
両国における女子サッカーの相互利益、促進、成長、成功に向けた関係強化
- ・組織、マーケティング、グラスルーツ等の分野に関する知識の交換
- ・試合による交流/コーチングプログラム
- ・サッカーマネジメントへの女性参入プログラム、男女共同参画



- X-girlがクラブにユニフォームを提供  
WEリーグは、株式会社ビーズインターナショナル（本社：東京都目黒区、代表取締役社長 西方雄作）とオフィシャルサプライヤー契約を締結しました。2022-23シーズンは6チームが同社のレディースストリートウェアブランド「X-girl」のユニフォームを着用してYogibo WEリーグに参加しています。  
WEリーグの理念と、X-girlの「GIRL'S MOVEMENT」を体現するユニフォームデザインには、『人と違うことを恐れない。ファッションも、夢も、自分らしい個性を放ちながら生きていく。一人一人が自分の個性を愛し、自分らしい選択を誇ることを応援する』という想いが込められています。

